

トップランナーが語る 誰も知らない農福連携のリアル



参加
無料

初めて聞く福祉関係者向け

農福連携セミナー 障害者等が活躍する新しい農業の世界



2024年

日時 **9月26日(木) 13:00~15:15**

対象 全国の福祉関係者
(福祉関係者以外の参加も歓迎です)

開催形式 オンライン(ZOOMウェビナー)

定員 500名

お申込みはこちら

応募締切 9月12日(木)



申込フォーム

<https://forms.gle/3w1GPVe1BNTGGksZ9>

農福連携とは

農業と福祉が手を取り合って、互いのより良い未来を築いていく取組です。担い手不足の農業では福祉の力が必要とされています。農業は百姓仕事(百の仕事がある)と言われるように、障害があっても各々の特性にあった仕事を見つかけられます。全てを一人でできなくとも、助け合うことで、農業はできます。農作業や自然を通じた動植物や人々との関わりで健康増進や居場所づくり。生きがい・働きがいが盛り沢山。工賃もUP。障害者・高齢者・子どもたち、様々な背景を持つ人々に多様な効果も期待できます。

農林水産省による詳しい解説はこちらから▶



福祉の皆さん!農業に力を貸してください!!



明日からできる農福連携!

2024.9.26

農業と福祉の連携を知るセミナー

プログラム

総合司会：農都共生総合研究所 川辺 亮

厚生労働省障害福祉課及び農林水産省農福連携推進室からの情報提供

『高工賃を実現できる農福連携』

講師 小淵 久徳 氏



ノウフク・アワード
2022
グランプリ受賞



平均工賃 月額
5万2千円を実現!
就労継続支援B型

社会福祉法人 ゆずりは会 菜の花(群馬県) 施設長

利用者25人、職員10人

「就労支援」と「高工賃」が2005年の法人設立当初からの理念。2014年に就労継続支援B型事業所菜の花開所。元理事長が農家で、地域農家の協力も得て開所6年で作付規模4倍!売上4倍!近隣メーカーとの商品開発、稲苗の供給やライスセンターの運営など、地域のインフラにもなっている。時間と心の余裕を生むために農作業の機械化にも力を入れている。

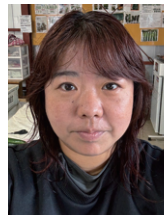


『みんなで支える農福連携』

講師 堀川 佳恵 氏



ノウフク・アワード
2021
優秀賞



働く意欲がもてる
作業場作り
就労継続支援A型

一般社団法人STEPUP CoCoRo事業所(宮崎県) 代表

利用者約22名、職員6名

特別支援学級担任の経験から、教え子が社会に出ていくことの難しさを痛感し、2012年就労継続支援A型を開設。収益向上のために2016年約0.7haの農地を借りて農業生産法人を立ち上げた。2017年農業指導員を導入。現在3.8haに規模拡大し、矯正施設退所者を含む利用者約20名と共に、米・ズッキーニ・ミニトマト等の栽培、野菜のカットなど一次加工に取り組んでいる。



『農家からの事業継承で農福連携』

講師 内野 美佐 氏



ノウフク・アワード
2022
フレッシュ賞受賞



「なにもない」を
「ここからできる」に!
多機能型事業所

社会福祉法人 土穂会 ピア宮敷(千葉県) 第1工房 地域支援担当

利用者約30人、職員約15人

法人は2000年に創設。2019年地元の牧場経営者から約1.5haの菜花畑を継承。現在は食用菜花やゴマ、ハーブ等の栽培のほか、ゴマ油やジャム、蜂蜜、ドレッシング等の製造販売も行っている。利用者がいかに幸せに毎日を送れるかに注力し、施設と地域がつながるイベントを積極的に企画。「まずは挑戦」がモットー。農福連携技術支援者として農家&福祉&地域内外と連携するためのネットワークづくりにも取り組んでいる。



クロストーク：農福連携の始め方、動かし方

～農福連携の具体的な実践法～

皆様、お気軽にご参加ください!

今後の
開催予定

【企業向け】
10月16日(水) 14:00~16:00

【交付金セミナー】
2月上旬開催予定

